

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税の会計処理は税込方式で行っています。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 職員の退職給付の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。

3. 会計方針の変更

該当ありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 なし	—	—	—	—
小計	—	—	—	—
特定資産 退職給付引当預金	1,500,000	500,000	0	2,000,000
小計	1,500,000	500,000	0	2,000,000
合計	1,500,000	500,000	0	2,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 なし	—	—	—	—
小計	—	—	—	—

特定資産 退職給付引当預金	2,000,000	2,000,000	—	2,000,000
小 計	2,000,000	2,000,000	—	2,000,000
合 計	2,000,000	2,000,000	—	2,000,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表 上の 記載区分
2021 年度 研究助成費	一般財団法人 自治労会館	0	500,000	500,000	0	流動資産
合 計		0	500,000	500,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 公益目的事業の当期実施額	10,500,000

8. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,500,000	500,000	0	0	2,000,000